

# THE RECORD

Special Feature

## 音楽購入の背景を探る

2006年度音楽メディアユーザー実態調査

アジア・レポート

中国音楽市場へ開かれた、新しい道

社団法人 日本レコード協会



## 水の種類

キングレコード株式会社  
代表取締役社長 小池武久



### <似て非なるもの>

出版業界から音楽業界に転職して6年。同じソフト業界だが、似て非なるものという感じがある。

かたや活字を通して目から、かたや音を通して耳からと方法は違うが、どちらも人の感性に訴えて商売する点では同じ水商売。

ただこの水の種類が違っている。音楽業界の水はさらさらの水、出版業界のそれは粘り気のある水という差があるような気がする。

シングルCDは出版物のハードカバーの単行本に相当する。マーケティングはするが、結果は出してみなければ分からない。売り上げが読めるようになると、音楽ではアルバムのリリース、出版では文庫本として利益の増大を狙う。この点では、全く同じ種類の水である。

ただ、音楽業界には出版業界における雑誌に当たる物が無い。雑誌も昨今は厳しい状況にあるが、それでもある程度部数が安定している。その上、雑誌には広告収入という別収入がある。この雑誌というジャンルがあることで、出版業界の水は同じような水でも、なかなかなくなる粘り気のある水と言えるのではないかと思っている。音楽業界でこの雑誌に当たるものは考えられないだろうか。

### <この一曲、この一振り>

この一曲を何にするか、大変難問なのでこう決めた。

私は現在の会社に入社して、まだミリオンセラーを経験したことがない。ミリオンセラーが出たとき、その曲が私の一曲となる。

私は趣味としてゴルフを30年来やっているが、まだホールインワンを経験していない。ミリオンセラーの「この一曲」、ホールインワンの「この一振り」、どちらが早いかな？

## Contents

### Special Feature

音楽購入の背景を探る

2006年度音楽メディアユーザー実態調査 ..... 2

アジア・レポート:中国音楽市場へ開かれた、新しい道 ..... 5

平成19年度事業計画..... 7

公正取引委員会へ再販制度弾力運用報告書を提出(下) ..... 9

INFORMATION SQUARE ..... 11

Monthly Production Report..... 13

Gold Album+...認定 ..... 14

# 音楽購入の背景を探る

## 2006年度音楽メディアユーザー実態調査

当協会は、(社)日本音楽著作権協会、(社)日本芸能実演家団体協議会・実演家著作隣接権センターとともに、2006年度「音楽メディアユーザー実態調査」を実施し、報告書にまとめました。この調査は、音楽CD、音楽DVD、着うた、有料音楽配信等の購入者の実態を把握するとともに、背景にあるユーザーの意識や関連ハード、インターネット利用実態等の音楽を取り巻く環境の変化を明らかにすることなどを目的として年1回実施しています。今年度は、多様化する音楽コンテンツの入手行動の把握をメインテーマとして、直接的な購買に結びつきっかけなどに焦点を当てた調査も加味しました。

今回の特集では、報告書の中から大まかな状況を把握できる基本情報を中心にピックアップし、ダイジェストでご紹介します。詳細な報告書を希望される方は、当協会ホームページ(URL: <http://www.riaj.or.jp/>)からダウンロードされるか、当協会広報部までお問い合わせください。

なお、本調査は、著作権思想普及を目的とする(社)私的録音補償金管理協会(sarah)の共通目的基金からの助成を受けています。

### 調査設計・サンプル設計

#### 調査設計

調査対象者: 12~69歳男女  
(ただし小学生は除く)  
調査エリア: 東京30km圏  
抽出方法: エリアサンプリング法  
調査方法: 質問紙による  
面接留置き自記入式  
調査日時: 2006年10月2日(月)~  
10月30日(月)

#### サンプル設計

(サンプル)	計	男性	女性
中学生	150	75	75
高校生	150	75	75
大学生	150	75	75
20代	150	75	75
30代	150	75	75
40代	150	75	75
50代	150	75	75
60代	150	75	75
合計	1,200	600	600

\*20代は学生を含まず。

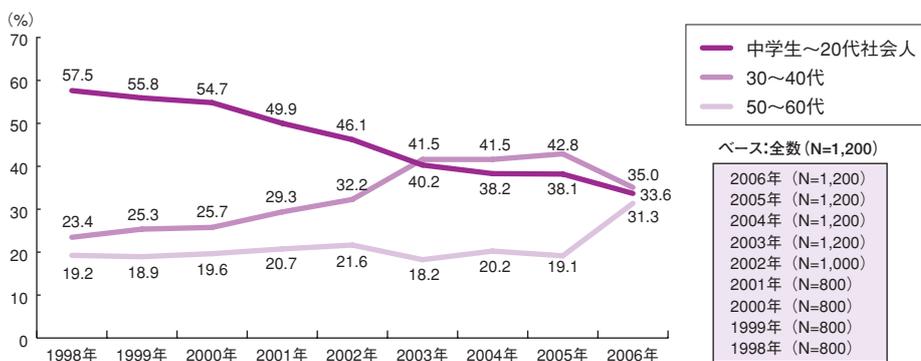
#### ●ウェイトバック集計について

実際の人口構成は年代によってバラつきがあるため人口構成比に合わせるために係数をかける、「ウェイトバック」と呼ばれる統計手法を用いる。

### Theme 1 マーケットシェア

#### Analysis CDセル市場で中高年層(50~60代)がシェア拡大

##### 年代別推定マーケットシェアの推移



出所:2006年10月本調査

#### ●推定マーケットシェアの算出方法

性・年代別のアルバム・シングル年間平均購入枚数(中古盤・輸入盤・インディーズ盤などを含む)をそれぞれ、<アルバム1枚=3ポイント、シングル1枚=1ポイント>と指数化した上で総計を出し、そこから各性・年代それぞれの全体に対する比率を算出した。

ただし1998年~2002年は調査サンプル構成が異なるため、2004年数値をもとに係数をかけて算出した値であることにご留意ください。

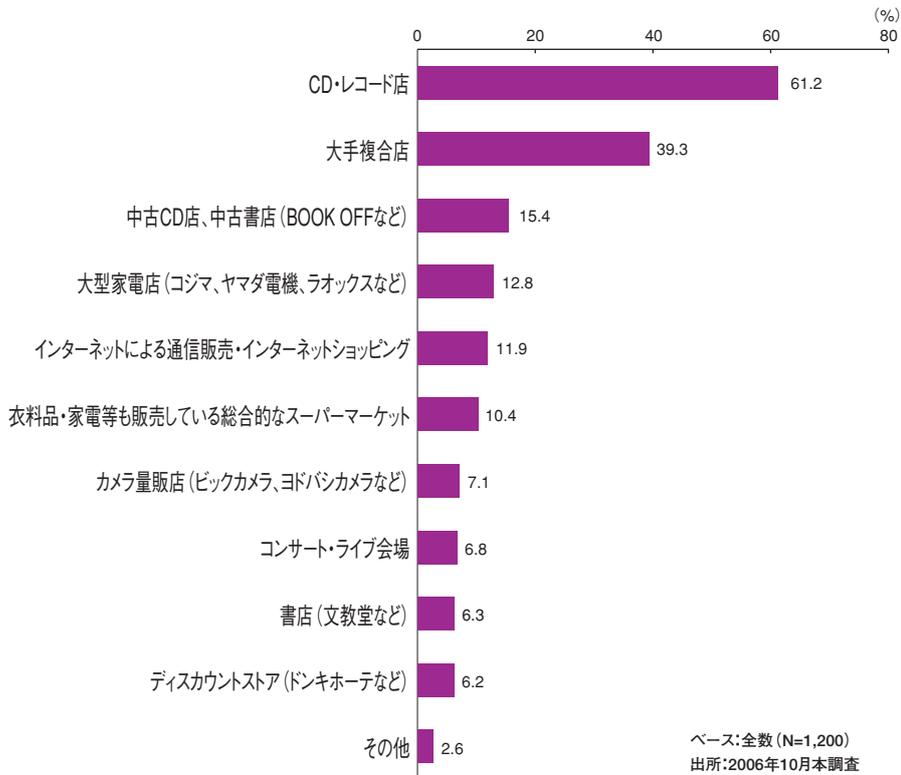
◆CDセル市場のマーケットシェアの推移は30~40代が最大シェアを維持したが、年代間の差は僅少になっている。

◆中高年層(50~60代)が伸長し、若年層(中学生~20代)シェア縮小が進む。

## Theme 2 CD購入チャネル

Analysis インターネット通販利用率が着実に拡大

CDを購入する際に利用するお店



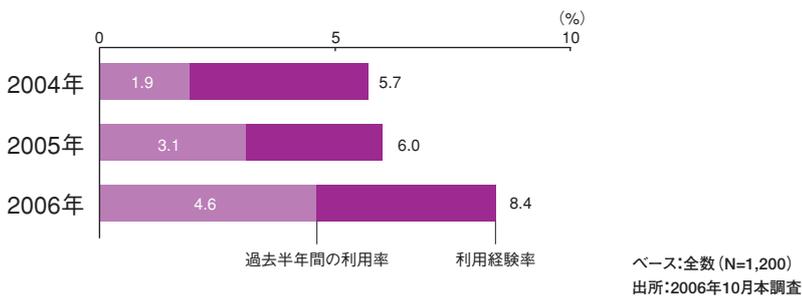
◆インターネット通販でのCD購入は、2004年6%→2005年9.5%→2006年11.9%で一割を突破し、4年連続で拡大中である。

◆インターネット通販利用率が高いのは、20代社会人~40代の多忙な層である。

## Theme 3 有料音楽配信サービス利用

Analysis 過去半年間の利用率は04年と比較して倍増、男性若年層が牽引

インターネット有料音楽配信サービス利用経験率



◆有料音楽配信サービス利用経験率は、年度ベース、過去半年間比較で3期にわたり、増加傾向にある。

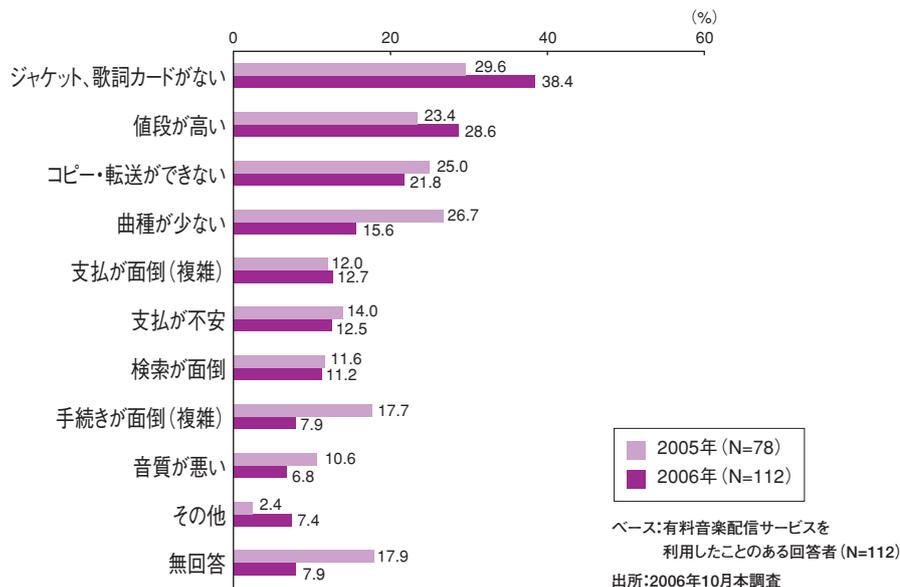
◆インターネット有料音楽配信の利用率は、女性に比べて男性の方が高いという傾向が弱まり、経験率でほぼ変わらない状況になりつつある。

●利用経験率は、過去半年間の有料音楽配信サービスの利用において「利用した」「この半年間には利用していない」と回答した人の全体における割合から算出している。過去半年間の利用率は、同様の質問において「利用した」と回答した人の割合から算出している。

●計算にはウェイトバック後の値を用いている。

## Theme 4 有料音楽配信サービスへの不満

Analysis 「CDジャケット、歌詞カードがない」が最多  
インターネット有料音楽配信を利用したなかでの不満点

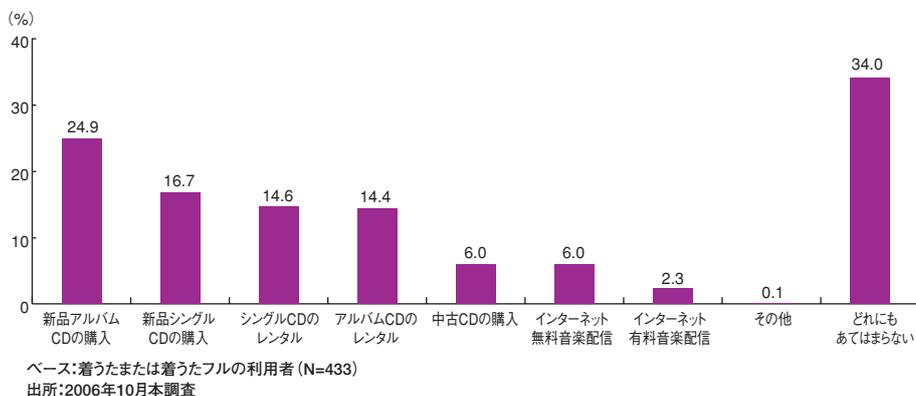


◆有料音楽配信を利用する中での不満点は、CDジャケット、歌詞カードがないが38.4%で最多である。年代別では、特に30代男性が多い。

◆曲種が少ない、手続きが面倒(複雑)を不満に挙げる人は2005年度より減少している。

## Theme 5 異なるメディア間のシナジー

Analysis 着うた、着うたフルのダウンロード楽曲を、  
新品CDアルバムで購入したケースは24.9%  
着うた、着うたフルでダウンロードした楽曲の別手段による入手経験



◆着うた・着うたフルでダウンロードした同じ楽曲をCDで買ったことがある人は24.9%存在する。

◆CD購入経験と比較すると、配信と併用するケースは2.3%に留まり、少ない。

## Theme 6 楽曲の認知・興味・購入を導く情報源

Analysis 購入決定のきっかけに、店頭ディスプレイ・プロモーションが大きな役割  
楽曲発売を認知する・楽曲に興味を持つ・CD等の購入を決定する  
きっかけとなる情報源



◆認知から購入にいたるプロセス全体を通して影響力がある情報源は、やはりテレビである。

◆認知媒体では、ラジオ・新聞・雑誌などのマスメディアに加えてインターネットの影響も強い。

◆購入を決めるきっかけでは、マスメディアの影響が弱くなり、CD店や人からの口コミ情報の影響力が強くなる。

# 中国音楽市場へ開かれた、新しい道

当協会は、日本音楽の中国における権利認証機関として認可を受け、業務を開始しました。

## ● 中国独自の海賊版対策、“権利認証制度”

中国では、さまざまなコンテンツの海賊版対策として、“権利認証制度”という独自の制度を設けています。たとえば音楽コンテンツについても、中国の国内で海賊版製造者が、音源の権利を持っていると虚偽の主張を行うケースが頻発し、数々の権利侵害が起り、問題化していました。

“権利認証制度”は、それら海賊版製造者の虚偽を厳しく判別できるように機能しています。権利を保有するライセンサーが、「確かに該当する音源の正当な権利保有者である」「中国本土でその音源の製造を許諾する権限を持っている」ということを、信

頼性を有する第三者機関が認証するという仕組みです。いわば、中国でビジネスを行う権利保有者に対して、正当な権利を持っていることを証明する身分証明書を発行するようなものです。

この制度は、1995年に運用が開始され、一業種一団体の原則の下、これまで映画関係ではMPA（モーション・ピクチャー・アソシエーション）、ソフトウェア関係でBSA（ビジネス ソフトウェア アライアンス）、音楽関係ではIFPI（国際レコード産業連盟）地域事務所（香港）の3団体が中国国家版權局から認可され、認証業務を行ってきました。

## ● 煩雑な手続きに伴う負担が、中国市場への参入障壁

日本の音楽を中国国内で販売する場合、多くの手続きが必要とされてきました。また、これまでは“権利認証制度”の音楽における認証機関がIFPIに限られていたため、さらに複雑な手間がかかりました。たとえば日本のレコード会社が、現地のライセンサーと協力して新譜をリリースする場合でも、いくつもの団体の確認や手続きを経なければなりません。そのため、販売戦略を組み立てることですら、相当な負担を強いられてきたのです。また、手続きに

相当な時間を要するため、新リリースまでの期間も必然的に延びてしまい、結果として海賊版業者が間隙をつく事態も多々生まれていました。“このような背景もあって、権利認証制度”のメリットが薄れていることは否めず、中国における日本アーティストの正規版CDの発売は、2005年でも、わずか64タイトルを記録したのにとどまっていた。

## ● 日本の組織として初、当協会が権利認証機関へ

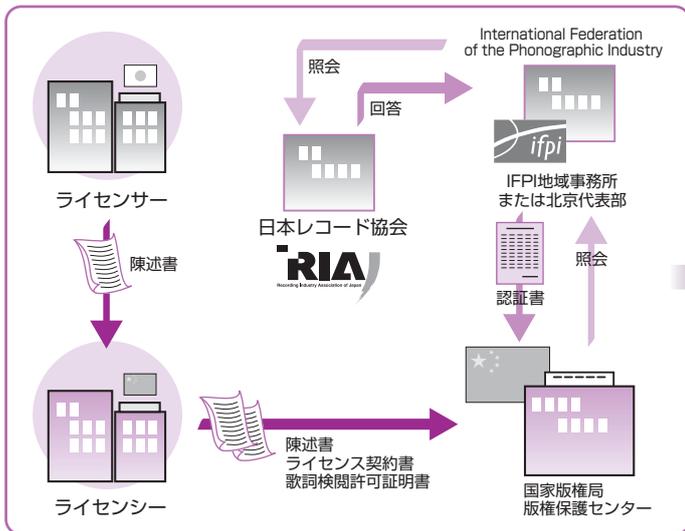
このような状況のなか、当協会は、中国において日本音楽の販売体制を整備する必要があるとの認識に立ち、以前から中国の様々な機関に働きかけを行ってきました。そしてこのたび、当協会は、日本音楽の中国における権利認証機関として、中国国家版權局より正式に認可を受け、業務を開始しました。当協会が権利認証機関として機能することによって、中国で日本音楽を販売するまでの一部手続きが簡素化され、認証にかかる時間が大幅に短縮される見通しです。（図参照）また日本の組織が、中国の国家機関から、このような認証機関の認可を得たこと自体、初めてのこ

とであり、音楽業界を含むコンテンツ業界、ひいては日本の産業界全体に、良好な事業環境を導ききっかけになると考えられます。

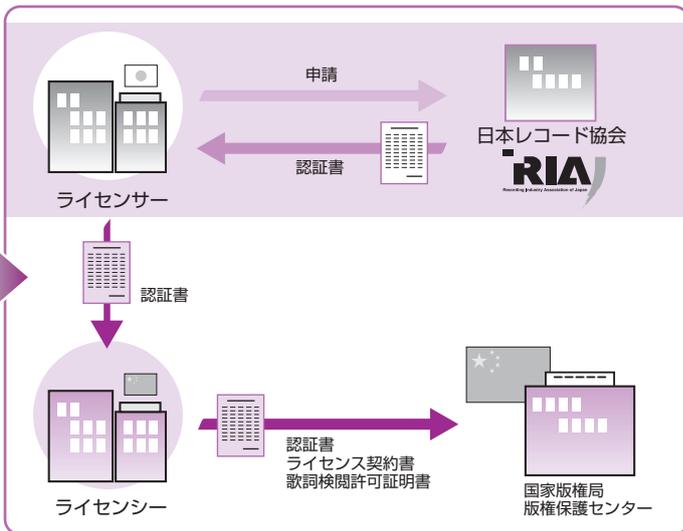
当協会では現在、アジア音楽市場拡大委員会を設置し、日本のレコード産業のアジア市場展開および近隣アジア諸国との文化交流促進のための諸施策を企画・実施しています。その一環として、中国における認証機関となったことで、日中両国の音楽業界の交流と発展を後押しし、双方の音楽文化・音楽ビジネス交流・促進をサポートしていく考えです。

● お問い合わせ先：(社)日本レコード協会 業務部 阿部・森岡 TEL.03-6406-0516

以前の中国市場における、日本のレパートリーの手続きの仕組み



当協会が認証機関となる場合の、中国市場における、日本のレパートリーの手続きの仕組み



## 当協会の北京事務所を開設、本年4月1日より認証業務スタート

当協会では、北京にある日本音楽情報センター（JAMIC: Japan Music Information Center）に、認証業務の連絡窓口として北京事務所を開設しました。JAMICは日本とアジアの音楽文化交流促進事業を推進する（財）音楽産業・文化振興財団（PROMIC）が、日中音楽交流の窓口として、中国音像協会とともに開設したものです。様々なイベントや広報活動などを通じて、日中音楽産業界の交流の強化に努めています。

当協会の事務所は、本年4月1日より業務を開始しました。伝統ある日中音楽交流の窓口を拠点として、新たな音楽交流促進に力を発揮していきます。



JAMICの外観



北京事務所内部の様子

## 当協会、上海で開催の「中国国際オーディオ・ビデオ・インターネット総合配給展」へ出展



オープニングセレモニーの様子

当協会は、本年4月11日～14日に上海で開催されたCIEAI2007（中国国際オーディオ・ビデオ・インターネット総合配給展）に出展しました。

CIEAI2007は中国音像協会、中国国家版權局、中国新聞出版総署ほかの主催・協賛により、中国の音楽、映像、インターネット産業の発展、ITの活用を推進することに加え、海外エンターテインメント産業との交流を促進することなどを目的としたイベントです。2005年に始まり、今年で3回目の開催となりました。

当協会では、アジア音楽市場拡大委員会で企画・実施する諸施策の一環として、毎回様々なプログラムを用意しています。今回は、中国の一般消費者が普段目にするのできない幅広いタイプの日本人アーティストのライブ映像等を、3日間4回ずつ、都合12回にわたって大型モニターで上映し、臨場感あふれるコンサート会場を演出しました。またCD試聴など各種企画も併せて実施し、日本音楽の認知向上と日本とアジアの音楽ビジネス交流の促進に努めました。一般の入場者を中心にマスコミやビジネス関係者も含めて4日間で、トータルでおよそ1万人が入場しました。青と白で彩られた当協会のブースにも、上映ライブや各種企画を体験しようと訪れた、

多様な層の人たちが見られました。

展示会期間中には、セレモニー、フォーラム等様々な行事も開催され、開催初日のフォーラムでは榎本アジア音楽市場拡大委員会委員長をはじめ、IFPI（国際レコード産業連盟）からレオン・メイシーIFPIアジア地域オフィス代表らが講演を行いました。



榎本委員長・講演の様子



来場者からの問い合わせに応える関係者

# 平成19年度事業計画

平成19年度は、『レコード産業の復活を果たす』ことを基本目標に、「壁を破る」「新しいルールを作る」および「総合力を発揮する」の3点を行動スローガンに掲げ、以下の施策を重点的に推進する。

## 事業活動

### [1] レコードの普及に関すること

#### 1. 音楽CD再販制度の擁護

文化的側面からの再販制度の必要性を訴え、政官界、文化人の間に理解者を増やす。また、再販制度の有効性についてデータを整理する。他方、再販制度の弾力運用に引き続き努め、消費者利益を踏まえた制度運用を行う。

#### 2. 協会にふさわしい需要拡大支援策の推進

異業種を巻き込んだ全会員社が参加可能な需要拡大支援策を検討、実施する。

#### 3. 日本音楽の海外ライセンスの促進

- ① 日本のレコードを紹介する海外向けサイトを立ち上げる。
- ② 10月に開催予定の国際コンテンツフェスティバル(ICF)を通じ、海外ライセンス事業拡大を支援する。
- ③ 4月に上海で開催される第3回中国国際音像総合配給展に日本ブースを設置して日本音楽をPRするほか、検閲制度の改善など中国市場におけるライセンス拡大阻害要因の排除を中国行政当局に働きかけていく。

#### 5. その他

- ① “ミュージックギフトカード”普及への協力
- ② “Music J-CIS”(Music Japan-Copyright Information Service)の構成団体として、音楽権利情報データベースを充実させユーザーへのサービスを拡大する。

### [2] レコードに関する調査研究および統計に関すること

#### 1. 市場調査、産業統計の充実

パッケージ商品および音楽配信に関する産業統計データについて、よりの確な集計・分析と迅速な公表を図るとともに、パッケージと配信のシナジー効果を検証する。

#### 2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

### [3] 録音による芸術文化の保存に関すること

#### 1. 歴史的音盤アーカイブとCDリサイクル

歴史的資産である初期のレコード(SP盤)の劣化、散逸の防止等のため、NHK、音楽関係団体とともに、「歴史的音盤アーカイブ推進協議会」を設立し、国の助成を得てサンプル音源のアーカイブ化に着手する。また、CDリサイクルについては、ポリカーボネートの再利用に産業規模で取り組み、見本盤回収事業の改善に繋げる。

#### 2. 新生日本ゴールドディスク大賞の開催

民放による番組のスポンサー化、ゴールデンタイムでのオンエア、受賞内容の一新など多角度から授賞式を見直す。

#### 3. 文化庁芸術祭への協力

#### 4. 日本プロ音楽録音賞の共催

### [4] 著作権・著作隣接権等に関すること

#### 1. モバイル向け違法音楽配信対策の強化

- ① 違法音源削除要請のシステム化、悪質なアップローダーに対する法的責任の追及ならびに携帯キャリアとの連携による違法利用防止技術の導入を進める。
- ② 特に若年層をターゲットにした違法行為抑止に向けた啓発キャンペーンの実施および限度を超えた私的録音が権利者に与える影響について教育を通じて著作権意識の喚起に努める。

#### 2. 著作権法改正への取り組みの強化

- ① 違法複製物等からのコピーやダウンロードを防止する法改正の実現  
違法複製物等からの私的録音(違法P2Pからのダウンロード等を含む)を30条の範囲から除外し、レコード製作者の複製権の強化を図る。
- ② レコード製作者の法的地位の向上
  - 1) IPマルチキャスト放送の「自主放送」に関する著作権法上の取り扱いを見直す動きに的確に対応する。
  - 2) レコード保護期間の70年への延長に向け法改正の足がかりを作るとともに、レコード演奏権の立法化に向けた準備を行う。

### [5] レコードに関する出版物の刊行等

レコード産業の理解促進と産業全体のイメージ向上を図る

ため、機関誌、ホームページ、プレスリリース等を活用して積極的に情報発信するとともに、社会貢献活動や文化活動についても広く広報を行う。

**[6] レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、総額の取り決めならびに徴収および分配**

1. 二次使用料収入の拡大  
二次使用料引き上げの論拠を整理し、新たな水準の合意に向け積極的に協議を行う。また、新たに二次使用料の対象となった有線テレビによる放送の同時再送信について使用料徴収体制の整備を行う。
2. 二次使用料分配ルールの抜本的な見直し  
平成22年度の二次使用料実績分配開始に向け、フィンガープリントデータベースの整備と分配規程の見直しに着手する。

**[7] レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配**

1. 音楽CD需要拡大協力金の徴収・分配システムを構築し、新しいレンタルルールの円滑な運用を図る。

2. レンタルユーザーのコピー実態を踏まえ、レンタル制度の今後のあり方を検討する。

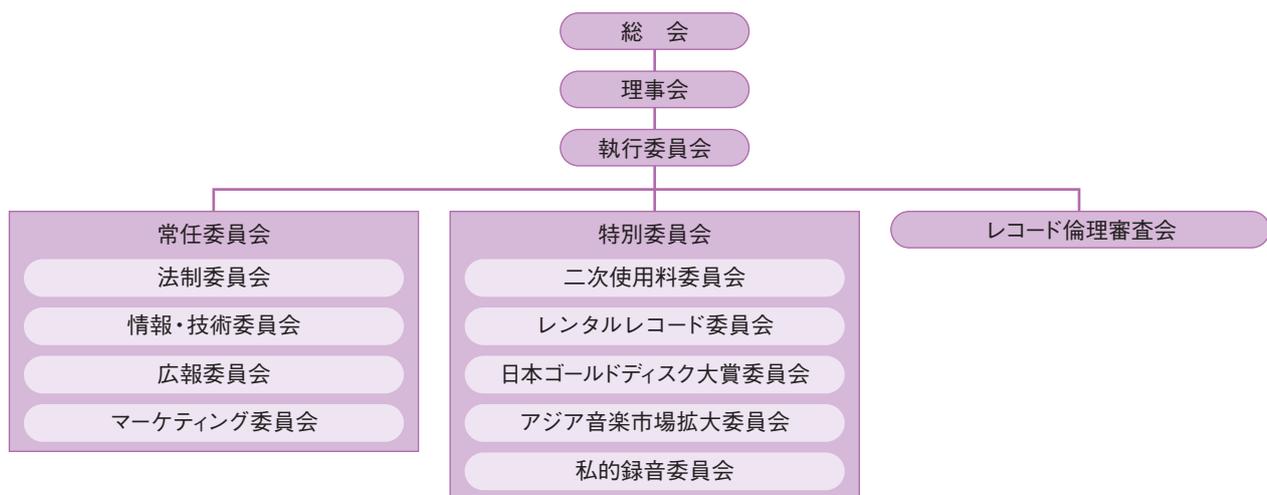
**[8] 私的録音録画補償金に関する権利行使団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の分配**

社団法人私的録音補償金管理協会 (sarah) および社団法人私的録画補償金管理協会 (SARVH) の構成団体として、私的録音録画補償金制度の円滑な運用を推進する。

**[9] その他**

1. 海外の団体、機関との連携活動  
IFPI (国際レコード産業連盟) およびRIAA (アメリカレコード協会) 等、海外のレコード産業団体との連携および情報交換を積極的に推進する。
2. レコード倫理審査会の開催
3. 業界規格 (RIS) の制定と改正
4. “ISRC” (International Standard Recording Code) の管理機関としての活動

**運営体制**



本年度の事業遂行のため、関係諸官庁ならびに関係諸団体と常に連絡協調を保持しつつ業務を推進する。

以上

# 公正取引委員会へ再販制度弾力運用報告書を提出(下)

2月28日、当協会は2006年12月31日時点のレコード会社による再販制度の弾力運用と流通改善状況を「音楽用CD等の再販制度の弾力運用の状況について」として取りまとめ、公正取引委員会に提出しました。

当機関誌では、先月号に続いて、報告書の内容を掲載します。

## 音楽用CD等の再販制度の弾力運用の状況について

### 音楽用CD等の再販制度に関する弾力的な運用と流通改善について

#### 2. 各種割引制度の導入等価格設定の多様化

①各レコードメーカーは、音楽文化の発展・育成に協力していると考えられる公立図書館、学校等が時限再販期間内の音楽用CD等を購入する場合、販売店が独自の価格設定もできるよう対応している。

②各レコードメーカーは、販売施策の一環として、販売店が大量一括購入する場合等における価格設定(リベートを含む)の多様化に取り組んでおり、販売店におけるプライスオフセール等の消費者サービスに協力している。

③設定される価格は、低価格化が進んでおり、多様化もさらに図られている。

アルバムの年間平均小売価格は、2001年の当面存置決定当時は2,399円であったが、昨年は2,126円(2005年は2,157円)と約11%(2005年は10%)値下がっている。

また、設定価格の多様化では、例えば、シングルでは500円以下・アルバムでは2,000円以下の商品、特典を付けたCDの価格据え置き商品、6~10枚組3,000円など複数枚組で価格据え置き商品の発売など割安感のあ

る商品の発売や、新人の低価格商品、期間限定低価格商品、クラシック・ジャズ等の低価格シリーズと、多種多様な設定が引き続き行われている。

#### 3. 再販制度の利用・態様について発行者の自主性の確保

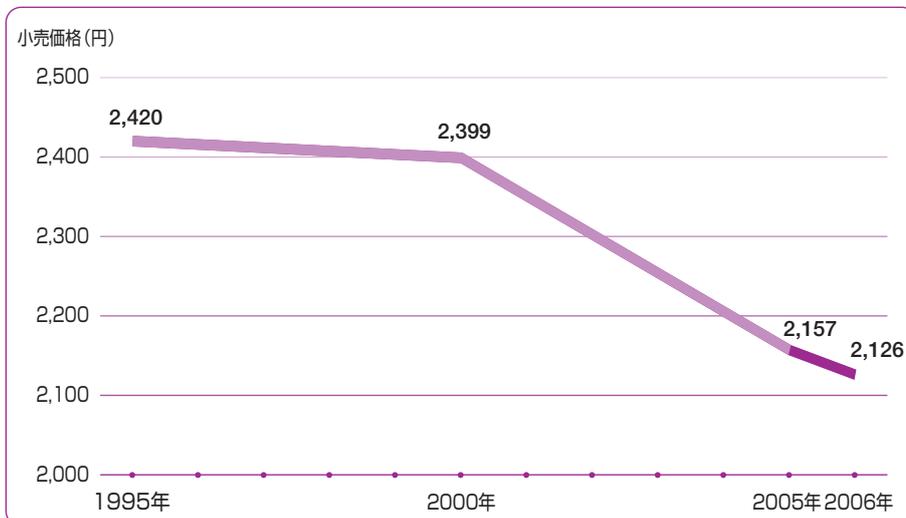
再販制度の利用については、従来からレコードメーカー各社が自らの判断で決定しており、今後も同様である。

#### 4. サービス券の提供等消費者に対する販売促進手段の確保

販売店は1979年の公正取引委員会の指導もあって、サービス券・ポイントカード等の利用を値引きという考えではなく、消費者サービスの一環として実施していた。その後公正取引委員会は「サービス券等は景品ではなく値引き」との見解を出されたが、レコードメーカーは、すでに消費者へのサービス提供の手段として定着しているとして販売店の自主性を尊重している。

今後もサービス券・ポイントカード等の実施店はさらに増加していくものと予想される。

12cmCDアルバム税込平均小売価格推移(注)



注：生産金額(一般市販)÷仕切率73%÷数量+消費税3→5%(1997年4月~)

## 5. 通信販売・直販等流通ルートの多様化およびこれに対応した価格設定の多様化

各レコードメーカーは、従前から消費者の購入利便性の向上のため、通販・直販等流通ルートの多様化に取り組んでおり、商品特性に合わせた多様な価格設定が行われている。

①インターネット利用による音楽用CD等の通信販売事業等レコードメーカー、インターネット専門の通信販売事業者に加え、実店舗を有するレコード販売業者も、消費者の購入利便性の向上、商品選択肢の多様化のため、インターネットを利用した音楽用CD等の通信販売事業を積極的に展開している。

### ②有料音楽配信事業

配信元年といわれた2005年、レコード協会は、有料音楽配信市場の実態を広く理解してもらうため、統計データの収集と公表(四半期ごと)を開始したが、2006年の販売金額は約520億円(見込み)、2005年との比較で約152%増(見込み)と、今後更なる拡大が期待されている。(2005年の販売金額は343億円、2004年の年間推定値との比較で229%)

さらに昨年は、有料音楽配信市場の活性化支援を目的として、9月から(1)「着うた(R)月間チャート」および(2)「着うた(R)・着うたフル(R)他の認定」事業を開始した。(2)のうち、ミリオン(100万ダウンロード)以上に認定された着うた(R)は、14曲(2006年配信開始分)であった。

また、近年特に、消費者の音楽へのアクセス環境を整備するために、他のエンタテインメントコンテンツとの複合店は元より、今まで音楽用CD等を販売していなかった業態への新規開拓(異業種とのコラボレーション等)への取り組みを強化している。各販売拠点においては、クロスマーチャンダイジング(CMD)等により、消費者の満足度を高める施策が実施されている。

## 6. 円滑・合理的な流通を図るための取引関係の明確化・透明化その他取引慣行上の弊害の是正

取引関係に関する特段の弊害は現在ないと認識している。

なお、レコード業界で初めてレコード小売店舗数調査(平均月商30万円以上)を実施、2005年3月末現在「7,412店」であった。

## 7. その他

①1万円で1万500円分の「音楽ギフトカード」が買える音楽ファン感謝キャンペーンの実施

レコードメーカー各社等が出資しているジャパン・ミュージック・ギフトカード社は、当協会の協力の下、1999年4月から毎年、1万500円分の「音楽ギフトカード」を1万円で販売する音楽ファン感謝キャンペーンを実施しており、2006年も10月に発行部数3万セット(3億円分)限定で実施した。今後も適宜、実施して行く予定である。

②CD音源の無料試聴サービス

インターネットの普及拡大に伴い、レコードメーカー各社は自社のホームページを利用して、プロモーションを目的にCD音源の無料試聴サービスを実施している。

また、販売店においても、高速大容量配信ネットワーク型の音楽検索試聴システムの導入が急速に進展し、現在1,800店に8,900端末(前回報告時は1,600店、8,200端末)が設置され、バーコード検索により184万曲(前回報告時は162万曲)の試聴が可能となっており、消費者の利便性が図られるとともにCDの販売促進にも繋がっている。

③販売店のPOSシステム支援用として、商品カタログのテキストデータの提供(契約会社に対する有料サービス「れこーどばん」)を行ってきたが、2001年9月からは、「れこーどばん」に各商品の収録曲目を追加する等、より充実した内容のデータ提供を可能とした「新れこーどばん(eCATS)」(注)のサービス(406万曲、前回報告時は228万曲)を行っている。

注:「新れこーどばん(eCATS)」は、当協会加盟レコードメーカーの賛同、協力を得て設立された「株式会社ジャパンミュージックデータ」(jmd)(資本金・1億円、2000年6月1日設立)が開発・運用しており、jmdは「デジタル試聴音源データベース」などの開発・運用も行っている。

④レコードメーカーが共同で受注・物流会社を設立しており、従前から、効率的・合理的に物流業務を行っている。また、販売店からの注文に対しては、原則として注文日の翌日に全国のレコード店に配達するシステムが構築されている。

以上

## 「JAPAN国際コンテンツフェスティバルConFes」開催

3月22日、東京・江東区の東京ビックサイトにおいて、「JAPAN国際コンテンツフェスティバルConFes」開設の記者会見が行われました。

このConFesは、政府の知財立国戦略の一環として、日本で開かれる音楽、映画、アニメ、ゲームなど、数々のイベントを9月から10月にかけて開催し、日本のコンテンツを世界にアピールするフェスティバルです。各コンテンツが横断的に連携することにより、日本の魅力、才能を世界にアピールをすることを目的としています。

記者会見では、各業界代表が出席し、その中で当協会佐藤会長は積極的にConFesに取り組んで行く旨抱負を述べました。

ConFesの音楽業界のオフィシャルイベントとして、10月下旬に「TAM(東京アジアミュージックマーケット・カンファレンス)」を開催します。ここでは、海外での活躍を希望するアーティストのショーケースライブや、アジア各国の記録業界の関係者を集めたカンファレンスを開催する予定となっています。

## 経済産業省18年度委託事業成果報告会

3月29日、東京・港区のTEPIA大ホールにて、経済産業省、(財)デジタルコンテンツ協会主催による「経済産業省18年度委託事業成果報告会」が行われました。

この報告会は、海賊版の存在、文化的制約・規制、情報不足により積極的な海外展開が行われていないコンテンツ産業の状況を受けて、各分野の参入障壁やビジネス上の課題の調査研究および基盤整備施策などに取り組んできた成果を相互に発表し、情報を共有しようとするものです。

この報告会の中で、ピクチャーエンタテインメント(株)の大槻洋之ライセンス部長と当協会業務部の米内係長が「日本音楽コンテンツのライセンスプロセスに関する調査」について発表を行いました。

発表ごとに積極的な質疑応答が行われるとともに、各コンテンツ産業からの様々な意見が取り交わされ、今後の海外展開に向けて有意義な報告会となりました。

## IFPIケネディ会長来日

4月23日から25日にかけて、IFPI(国際レコード産業連盟)のジョン・ケネディ会長が来日しました。

24日には、当協会において、レコード産業の現状と課題を中心に、IFPIと当協会の活動の連携等について話し合いました。その後、文化庁と知的財産戦略推進事務局を表敬訪問し、日本の音楽産業が直面している課題解決に向け、世界のレコード産

業を代表して、理解と支援を要請しました。また、この日は、マスコミの取材を受け、世界の観点から日本の音楽市場を語りました。多忙な日程を消化し、翌25日には帰国の途につきました。

## 「日本のレコード産業2007」発行



日本語版

当協会は、この度、「日本のレコード産業2007」を発行しました。これは、2006年のレコード産業の概要を網羅したA4版ページの小冊子です。

従来から掲載しているレコードの生産実績、新譜・カタログ数、ミリオンセラー、世界売上、輸出入統計をはじめ、昨年から加わった有料音楽配信の売上実績などレコード産業が概観できる資料になっています。

当協会ホームページからもPDF版がダウンロード可能ですので、ご活用下さい。

## 佐藤会長、早稲田大学寄付講座にて講義

前号でもご紹介しましたが、4月12日、当協会の寄付講座として早稲田大学「コンテンツビジネスと著作権」、慶應義塾大学「クリエイティブ産業研究Ⅰ・Ⅱ」が開講されました。

本講座は、日本の知的財産戦略の中で、重要な役割を担うコンテンツビジネスへの関心を高め、その基盤を支える著作権制度の重要性を理解してもらうことを目的とするものです。

早稲田大学での第1回目では、当協会佐藤会長が、「日本の音楽産業・特質と課題」についての講義を行いました。講義後は、受講生から学習意欲の高さが感じられる熱のこもった感想や質問がなされ、活気ある講義となりました。



早稲田大学 法学学術院の鎌田 薫教授と佐藤会長

## 新人研修セミナー(第1回RIAJセミナー)開催

4月6日、東京・新宿区の日本青年館において、当協会は「新入社員研修」を開催しました。本研修は、今後、毎月行われる予定であるRIAJセミナーの一環として、会員社の新入社員を対象に

開催されたものです。

総勢100名ほどの新入社員に、当協会田辺専務理事より「レコード産業の過去・現在・未来」について、高杉事務局長より「レコード会社と著作権法」について講義が行われました。



田辺専務理事の講義

各社新入社員の皆さんは、真剣な眼差しで熱心に聴講していました。その後、外苑前TEPIAで行われた懇親会では、和やかな雰囲気の中、会員社同士交流を図り、充実した研修会となりました。

## 業界紙懇談会開催

4月10日、東京・港区の虎ノ門パストラルホテルにて、当協会は業界紙懇談会を開催しました。

平成19年度のスタートにあたり、当協会佐藤会長から市場環境とメーカー活動、違法配信対策、再販の必要性などについて説明が行われました。また、田辺専務理事からは、当協会の事業計画の概要について報告が行われました。その後、事務局と記者との間で活発に質疑応答、意見交換が行われ、年度の初めにふさわしい、活気ある懇談会になりました。



懇談会の様子

## ISRCサイトリニューアル

ISRC（国際標準レコーディングコード）に関するお問い合わせがここ数年、急増しています。そのため、ISRC事務局では、利用者の利便性向上を目的として、ISRCのホームページをリニューアルしました。下記URLをご参照下さい。

<http://isrcdb.jmd.ne.jp/>

## 理事会・総会開催

3月30日、東京・港区の虎ノ門パストラルホテルにおいて、当協会は第398回理事会および第122回通常総会を開催し、平成19年度事業計画案が承認されました。事業計画の詳細に

つきましては、本誌7頁から8頁「平成19年度事業計画」をご覧ください。

## 当協会理事変更

### ■新任(4月13日付)

理事 北川直樹

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

代表取締役 コーポレート・エグゼクティブ CEO

### ■退任(4月1日付)

理事 榎本和友

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

前代表取締役 コーポレート・エグゼクティブ CEO

## 会員社からのお知らせ

### ■事務所移転(4月9日付)

株式会社コナミデジタルエンタテインメント

新住所：〒107-8324 東京都港区赤坂9-7-2

ミッドタウン・イースト

電話：03-5771-0573 FAX：03-5412-3310

### ■訃報連絡

#### 高宮 昇氏ご逝去

元東芝EMI(株)会長の高宮 昇(たかみや のぼる)氏が、4月16日ご逝去されました(享年91歳)。

同氏は、第9代(1983年3月～1986年3月)の当協会会長も務められました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

### ● 2007年4月会議メモ

- 4・4 マーケティング委員会
- 日本ゴールドディスク大賞委員会
- 4・10 法制委員会
- レコード倫理審査会
- 4・13 情報・技術委員会
- 4・17 広報委員会
- アジア音楽市場拡大委員会
- 4・20 執行委員会
- 4・26 二次使用料委員会
- 4・27 理事会

# Monthly Production Report

## 2007年3月度レコード生産実績

3月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比95%の3,515万枚・巻、金額で同94%の417億円となりました。

このうち、オーディオレコードは、数量で前年同月比88%の2,753万枚・巻、金額で同91%の335億円となりました。また、音楽ビデオは、数量で前年同月比133%の762万枚・巻、金額で同114%の83億円となりました。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			3月実績						2007年1月～2007年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シ	8cmCD	邦	22	0	130%	11	0	105%	65	0	14%	31	0	58%
		洋	24	0	656%	5	0	342%	106	0	610%	17	0	221%
		計	46	0	222%	16	0	136%	170	0	35%	48	0	78%
ン	12cmCD	邦	6,331	23	98%	4,567	14	106%	15,678	23	91%	11,489	14	91%
		洋	45	0	538%	44	0	655%	85	0	166%	74	0	212%
		計	6,376	23	98%	4,610	14	106%	15,763	23	91%	11,563	14	91%
ル	小計	邦	6,353	23	98%	4,577	14	106%	15,742	23	89%	11,520	14	91%
		洋	69	0	573%	49	0	597%	191	0	278%	90	0	214%
		計	6,421	23	99%	4,626	14	106%	15,934	23	89%	11,611	14	91%
12cmCD アルバム	邦	14,677	53	98%	21,735	65	93%	35,314	51	96%	53,592	63	97%	
	洋	5,681	21	61%	6,534	20	74%	16,111	23	78%	18,019	21	85%	
	計	20,357	74	84%	28,270	84	88%	51,425	74	89%	71,611	84	93%	
CD 合計	邦	21,030	76	98%	26,313	79	95%	51,056	74	93%	65,112	77	96%	
	洋	5,749	21	62%	6,583	20	75%	16,302	24	79%	18,109	21	85%	
	計	26,779	97	87%	32,896	98	90%	67,358	97	89%	83,222	98	93%	
アナログ ディスク	邦	17	0	83%	29	0	115%	42	0	101%	76	0	168%	
	洋	10	0	87%	14	0	137%	18	0	91%	34	0	176%	
	計	27	0	84%	43	0	122%	60	0	98%	110	0	170%	
カセット テープ	邦	670	2	124%	451	1	104%	1,666	2	96%	1,252	1	87%	
	洋	0	0	20%	0	0	12%	1	0	183%	1	0	119%	
	計	670	2	124%	451	1	104%	1,667	2	96%	1,252	1	87%	
その他	邦	25	0	109%	33	0	77%	96	0	213%	220	0	263%	
	洋	32	0	218%	52	0	210%	49	0	145%	85	0	139%	
	計	57	0	152%	86	0	125%	144	0	184%	305	0	211%	
合計	邦	21,742	79	99%	26,826	80	95%	52,860	76	94%	66,660	79	96%	
	洋	5,791	21	62%	6,650	20	75%	16,370	24	79%	18,228	21	85%	
	計	27,533	100	88%	33,475	100	91%	69,230	100	90%	84,888	100	93%	

### ● 音楽ビデオ

			3月実績						2007年1月～2007年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	7,070	93	134%	7,512	91	115%	14,746	93	111%	13,260	89	101%	
	洋	442	6	114%	651	8	102%	1,018	6	88%	1,513	10	84%	
	計	7,512	99	133%	8,163	99	114%	15,764	99	109%	14,773	99	99%	
テープ・LDその他		106	1	174%	90	1	94%	165	1	92%	188	1	67%	
合計	邦	7,108	93	133%	7,584	92	115%	14,842	93	110%	13,427	90	100%	
	洋	510	7	131%	669	8	105%	1,087	7	93%	1,534	10	85%	
	計	7,618	100	133%	8,253	100	114%	15,929	100	109%	14,961	100	98%	

### ● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

			3月実績						2007年1月～2007年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			27,533	78	88%	33,475	80	91%	69,230	81	90%	84,888	85	93%
音楽ビデオ			7,618	22	133%	8,253	20	114%	15,929	19	109%	14,961	15	98%
合計			35,151	100	95%	41,728	100	94%	85,159	100	93%	99,849	100	94%

### ● ビデオ(含音楽ビデオ)

			3月実績						2007年1月～2007年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD			13,097	99	103%	21,958	99	128%	28,116	99	90%	45,975	99	107%
テープ・LDその他			134	1	90%	159	1	51%	256	1	59%	403	1	41%
合計			13,231	100	103%	22,117	100	127%	28,372	100	90%	46,378	100	106%

### ● オーディオ/ビデオ合計

			3月実績						2007年1月～2007年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			27,533	68	88%	33,475	60	91%	69,230	71	90%	84,888	65	93%
ビデオ			13,231	32	103%	22,117	40	127%	28,372	29	90%	46,378	35	106%
合計			40,764	100	92%	55,593	100	102%	97,602	100	90%	131,267	100	97%

備考 1. 上記実績は、会員会社「44社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

## 音楽ソフト

### 邦楽

#### アルバム

##### ● ミリオン

HOME	MR.CHILDREN	2007.03.14	TF
● トリプル・プラチナ			
愛 am BEST	大塚 愛	2007.03.28	AMC
A BEST 2 -BLACK-	浜崎あゆみ	2007.02.28	AMC
A BEST 2 -WHITE-	浜崎あゆみ	2007.02.28	AMC
Secret	浜崎あゆみ	2006.11.29	AMC

##### ● ダブル・プラチナ

綾小路きみまろ 爆笑スーパーライブ第2集! ガンバッていただきたいの…	綾小路きみまろ	2006.01.25	TE
EXILE EVOLUTION	EXILE	2007.03.07	AMC

##### ● プラチナ

YES	中島美嘉	2007.03.14	AI
BEST~BOUNCE & LOVERS~	倅田来未	2007.03.14	AMC

##### ● ゴールド

サクラ色	アンジェラ・アキ	2007.03.07	ES
桜咲く街物語	いきものがかり	2007.03.07	ES
COSMICOLOR	m-flo	2007.03.28	AMC
Diamond Princess	加藤ミリヤ	2007.03.07	SR
SINGLES 2	Janne Da Arc	2007.02.21	AMC
BEST OF SOULHEAD	SOULHEAD	2007.02.21	AI
BEST OF TOKYO SKA 1998-2007	東京スカパラダイスオーケストラ	2007.03.21	AMC
ぶっ生き返す	マキシム ザ ホルモン	2007.03.14	VAP
SEASONS COLOURS—春夏選曲集—	松任谷由実	2007.03.07	TO
RADWIMPS3~無人島に持っていき忘れた一枚	RADWIMPS	2006.02.15	TO

#### シングル

##### ● トリプル・プラチナ

千の風になって	秋川雅史	2006.05.24	TE
---------	------	------------	----

##### ● ダブル・プラチナ

Love so sweet	嵐	2007.02.21	JA
Flavor Of Life	宇多田ヒカル	2007.02.28	TO

##### ● プラチナ

WINDING ROAD	絢香×コブクロ	2007.02.28	WJ
蕾(つぼみ)	コブクロ	2007.03.21	WJ
星をめざして	NEWS	2007.03.21	JE

##### ● ゴールド

BUT/愛証	倅田来未	2007.03.14	AMC
ひかりのまち/ラン・フリー(スワン・ダンスを君と)	TOKIO	2007.03.28	UM
大阪LOVER	DREAMS COME TRUE	2007.03.07	UM
Lovin' Life	FUNKY MONKEY BABYS	2007.01.24	DRM
CHE.R.RY	YUI	2007.03.07	SR
茜空	レミオロメン	2007.03.14	V

#### ビデオ

##### ● ゴールド

LIVE TOUR 2006-2007 ~second session~	倅田来未	2007.03.28	AMC
ayumi hamasaki ARENA TOUR 2006 A~(miss) understood~	浜崎あゆみ	2006.11.01	AMC

### 洋楽

#### アルバム

##### ● ゴールド

スウィート・エスケイプ	グウェン・ステファニー	2007.01.31	UM
-------------	-------------	------------	----

※日付は発売日

## 認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた(R)、着うたフル(R)、パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上

以降、100万毎に賞を設定  
基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)  
※着うた(R)のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/  
AMC:エイベックス・マーケティング・コミュニケーションズ/  
BG:ピーグラムレコーズ/BM:バーミリオンレコード/  
BMG:BMG JAPAN/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/DF:デフスターレコーズ/DRM:ドリーミュージック/EP:アップフロントワークス(ゼティマレーベル)/ES:EPICレコードジャパン/FK:ファイブズエンタテインメント/FL:フォーライフミュージックエンタテインメント/GN:ジュネオン エンタテインメント/GZ:ギザ/HSE:Hostess Entertainment Unlimited/HY:東屋慶名建設/JA:ジェイ・ストーム/IE:ジャニーズ・エンタテインメント/JK:ユニテッド・アジアエンタテインメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MC:ミュージャー・コミュニケーションズ/MH:ソニー・ミュージックダイレクト/ON:ビーヴィジョン/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッコロタウン/PZ:ビザ・オブ・デス・レコーズ/QQ:パームビーチ/RR:ロードランナー・ジャパン/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SM:ミュージックレイン/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/SV:アニプレックス/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー

## 有料音楽配信(「着うた(R)」他)

### 「着うた(R)」

##### ● 2ミリオン

Flavor Of Life -Ballad Version-	宇多田ヒカル	2007.01.05	TO
---------------------------------	--------	------------	----

##### ● ミリオン

WINDING ROAD	絢香×コブクロ	2007.01.18	WJ
蕾(つぼみ)	コブクロ	2007.01.08	WJ
Lovin' Life	FUNKY MONKEY BABYS	2007.01.10	DRM

##### ● トリプル・プラチナ

Flavor Of Life	宇多田ヒカル	2007.02.19	TO
道	EXILE	2007.02.07	AMC
Lovers Again	EXILE	2006.12.13	AMC
CHU-LIP	大塚 愛	2007.02.14	AMC
Winter Love	BoA	2006.10.18	AMC

##### ● ダブル・プラチナ

This Is Love	宇多田ヒカル	2006.05.15	TO
Everything	EXILE	2006.11.29	AMC
Cherry Girl	倅田来未	2006.11.22	AMC
BUT	倅田来未	2007.02.28	AMC

### 「着うたフル(R)」

##### ● トリプル・プラチナ

桜	コブクロ	2005.11.23	WJ
---	------	------------	----

##### ● ダブル・プラチナ

Flavor Of Life	宇多田ヒカル	2007.02.28	TO
----------------	--------	------------	----

##### ● プラチナ

Flavor Of Life -Ballad Version-	宇多田ヒカル	2007.02.28	TO
Lovers Again	EXILE	2007.01.17	AMC
ラヴ・パレード	ORANGE RANGE	2005.06.01	SR
Lovin' Life	FUNKY MONKEY BABYS	2007.01.24	DRM
Winter Love	BoA	2006.11.01	AMC
Rolling star	YUI	2007.01.17	SR

##### ● ゴールド

サクラ色	アンジェラ・アキ	2007.03.07	ES
愛しい人へ	ET-KING	2007.02.14	UM
D-tecnoLife	UVERworld	2005.07.12	SR
First Love	宇多田ヒカル	2004.11.19	TO
道	EXILE	2007.02.28	AMC
CHU-LIP	大塚 愛	2007.03.07	AMC
Snowdome	木村カエラ	2007.01.17	C
約束の場所	CHEMISTRY	2006.10.04	DF
BUT	倅田来未	2007.03.14	AMC
君の好きなこと	平井 堅	2007.02.28	DF
愛してる	風味堂	2006.08.30	V
桜坂	福山雅治	2005.12.14	UM
Squall	福山雅治	2005.12.14	BMG
M	PRINCESS PRINCESS	2005.02.23	SE
かけがえのない詩	mihimaru GT	2007.02.28	UM
CHE.R.RY	YUI	2007.03.08	SR
長い夢	YUKI	2005.04.15	ES
3月9日	レミオロメン	2007.02.19	V

### PC配信(シングル)

##### ● ゴールド

Flavor Of Life	宇多田ヒカル	2007.02.28	TO
----------------	--------	------------	----

※日付は配信開始日

## 協会からのお知らせ

2006年の日本のレコード産業の統計を網羅した「日本のレコード産業2007」を発行しました。当協会のホームページでもご覧いただけます。ぜひ活用ください。



**Respect  
our MUSIC**

<http://www.rom-m.jp/>



**THE RECORD No.570 2007年5月号**

社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 佐藤 修  
編集人 田辺 攻  
発行日 2007年5月10日  
発行 社団法人 日本レコード協会  
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F  
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

### 編集後記

桜の花がちょうど満開のころ、業界内の新入社員向けのセミナーにオブザーバーとして参加してきました。想像以上に活気と希望に満ちた新人の方々にお会いし、初めて就職したころの、まっさらな気持ちを思い出しました。皆さんの、今後の活躍を期待し、いつまでも今の新鮮な気持ちを忘れないで、頑張ってくださいと思います。

(T)